

NOE NEWS LETTER

Division of Next generation Open Education promotion

No. 06



2025/09

全学FDとして、NOE部門の講習会をオンライン開催します

2025年12月19日（金）に講習会をオンライン開催いたします。時間は、①10:30～12:00、②13:30～15:00、③15:30～17:00の予定です。

1 電子教材著作権講習会

教育活動において、学生や教職員が共同で作成した学習資料をWeb上で共有する機会が増えています。たとえば、協調学習の場面では成果物をオンラインで公開することが一般的になりつつありますが、その中には画像や文章、図表など、他人の著作物が含まれている場合があります。著作権の扱いを誤ると、法的な問題に発展する可能性もあるため、資料を作成する際には、著作物の出典や使用許諾の有無などを確認することが重要です。本講習会では、これらの注意点について、わかりやすく解説いたします。

2 XR系電子教材開発者向け講習会

近年、教育現場ではICT（情報通信技術）の進化に伴い、学習者の理解を深めるための新たなアプローチが求められています。特に、3次元CGやXR（VR/AR/MR）といった技術を活用した対話型電子教材は、従来の紙媒体や映像教材では得られなかった没入感やインタラクティブ性を提供し、学習者の主体的な学びを促進する手段として注目されています。本講習会では、本部門で開発した教材開発のためのツールと、XR系教材（VR/AR/MR）についてわかりやすく解説いたします。

3 ビデオ機材利用者向け講習会

教育・研究活動の多様化に伴い、映像制作のニーズが高まっています。本部門では、教職員の皆様が授業記録、研究発表、広報活動、オンライン教材の作成などに活用できるよう、各種ビデオ機材の貸出しを行っています。これらの機材は、講義の収録や実験の記録、学会発表用の動画制作、インタビューやプロモーションの撮影など、幅広い用途に利用できます。本講習会は、特にご利用場面の多いビデオ機材の利用法と活用のポイントを広く周知するために実施しております。

*申し込みなどの詳細につきましては、後日、全学に向けてアナウンスいたしますので、今しばらくお待ちください。

WORKSHOP ワークショップ開催報告

■ 360°VR動画教材作成ワークショップ

2025年8月28日(木)13:30～16:00にNOE部門会議室において、NOE部門長が講師となり、本ワークショップを開催しました。360°VR動画の仕組みと機材の解説、撮影後の試聴やアップロードして公開する手順、VRゴーグルを使った視聴方法などを解説いたしました。アンケートには「高度な技術が必要だと思っていたが、予想よりも簡単にデータを作成できました」との回答が寄せられました。当日は9名の方にご参加いただきました。

配布資料▶ <https://noe.icer.kyushu-u.ac.jp/ws2508/>



■ ビデオ機材利用者向けワークショップ

2025年8月29日(金)13:30～16:00にNOE部門会議室において、NOE部門スタッフが講師となり、本ワークショップを開催しました。講義・講習会などの録画や撮影、機材の設定や配線・分配、ソフトウェアの利用から実際の配信までの説明を行いました。アンケートには「講師用PCのみでハイブリッド配信をしていましたが、それがリスクのある運用だと気づきました」との回答が寄せられました。当日は4名の方にご参加いただきました。

配布資料▶ <https://noe.icer.kyushu-u.ac.jp/wsv2508/>

REPORT 第16回 TCU国際eラーニング会議および第4回 教育通信技術国際会議 2025 参加報告
The 16th TCU International e-Learning Conference and The 4th International Conference on Educational Communications and Technology 2025

タイ国のThai-MOOCおよび韓国のK-MOOCと連携した活動を行っています。JMOOC*の方からご紹介があり、昨年9月にThai-MOOCの関係者が来学されました。360°VR動画コンテンツ制作等の本NOE部門の取り組みをご紹介しました。この折、2025年度に表題の国際会議をタイ・バンコクで開催する旨のお話が

あり、講演およびワークショップ実施の依頼を受けたものです。

会議1日目(8月5日)の午後に、40分程の時間を頂戴し、360°VR動画コンテンツ制作技術・ツールの紹介をデモを交えて行いました。バンコクにある大学の多くの学生が参加・聴講してくれました。

会議2日目(8月6日)には、ロビーに

ベースを用意して頂き、VRゴーグルを使用して360°VR動画コンテンツ等の視聴体験を会議参加者にしてもらいました。高い没入感に感動されていました。本部門の活動をタイ国の多くの教育関係者にご理解いただけたものと思います。

(岡田義広・部門長)

* JMOOC:一般社団法人日本オープンオンライン教育推進協議会



REPORT コンシューマ技術に関する第2回IEEE国際シンポジウム2025(IEEE ISCT-2025)参加報告

学内外の教育機関等と連携して「教育の質の向上」を目指した取り組みを行うために、本NOE部門の活動を広報する目的で、表題の国際シンポジウムにおいて、特別セッション(Emerging Technologies for Next Generation Open Education)を実施いたしました。会議2日目(9月17日)の午前に論文発表を行いました。

IEEE ISCT-2025 ▶ <https://isct.ctsoc.id/>

私のほか、九州大学から医学研究院・保健学部門藤淵俊王教授、情報基盤研究開発センター石偉助教に本部門の活動に関連した研究発表を行っていただきました。開催場所は、インドネシア・デンパサールで、近隣大学から多くの研究者が参加されており、本部門の活動をご理解いただけたものと思います。

(岡田義広・部門長)



機材紹介 対象物撮影用3Dスキャナー

今回は、対象物撮影用3Dスキャナーをご紹介します。この装置は、パターン化された光を対象物に照射し、物体の凹凸によって光が歪む様子を利用して形状を取得します。装置内のカメラが、歪んだ光のパターンを連続的に撮影すること



で、点群データを生成します。

本体はハンディタイプで、手に持てて操作することができます。取得したデータは、専用ソフトを使用して点群をメッシュ化し、撮影時に取得したテクスチャを貼り付けることができます。

こうして完成した3Dモデルは、各種3Dソフトウェアで扱うことができます。

左のスキャンした電話の3Dモデルを確認できます
https://noe.icer.kyushu-u.ac.jp/edu_dev/



注意すべき点

- 金属、反射、黒、透明などは難しい
- それなりの重さがあるので、腕が疲れやすい
- 対象との距離や角度、動かし方に慣れが必要
- 専用ソフトで統合などの作業が必要

対象物撮影用3Dスキャナー (Artec LEOマニュアル)
https://noe.icer.kyushu-u.ac.jp/developer_portal/

